
世界を救う少年の物語

蒼龍

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

世界を救う少年の物語

【Nコード】

N3844K

【作者名】

蒼龍

【あらすじ】

なんかライトノベルっぽく書けたら良いなあ・・

と思っただけですのであまり細かく設定はしていません汗

その内大まかな方針は決めますので応援してもらえるとうれしいです^^

こんなに適当ですみません・・・汗

バトル展開とラブコメ要素は入れたいのですが、自分の文章力で書

けるかどうかとても不安です・

00・終わりの始まり

人間は強欲だ

人類は科学技術の進歩によって普通の種ではありえないほどの発展を遂げてきた。

本来ならそこでとどまっても何の問題もないほどに。

しかし、人類は強欲にも、もっと欲しいもっと知りたい、この世の全てを手に入れたいと願った。
そして、人間よりも高等な生物がいることを知った。

人間は愕然とし、恐怖し、絶望し、そして

更なる高みへと努力をした。

結果、人類は異世界とつながる事に成功した。

一人の日本人が異世界の扉を開け、5つの宝石を持ち帰ってきた。

石を手に入れたその少年は人智を超えた能力チカラを使用した。

当初、その少年は捕獲命令が出され、自衛隊が大隊を組んでその男の捕獲に当たっていた。

しかし、捕獲に当たった大隊はほぼ壊滅。

少年の消息は不明となり、その場には5つの宝石だけが残された。

しかし、不思議なことに死者は一人もでなかった。

その場にいたものは総じてこう口にする「人ではない。」と

その少年が持ち帰った宝石は1つ持つだけで絶大な能力チカラを使うことができた。

しかし、能力を使ったものは皆暴走し、息絶えた。

研究者はその石を「魔界ヘルジュエルの宝石」と呼んだ。

効力は薄まるものの、研究者達はヘルジュエルの複製を行い、量産化に成功した。

しかし、異世界とつながる事はこの世界に大きな影響を与えた。

日本の各地で不定期に異世界とつながる現象が確認されたのだ。

能力チカラを手に入れた権力者達は能力チカラの技術の独占おこなを行った。

日本は、人間は更なる高みへ上るために、その石の研究を始めた。

しかし、能力チカラの存在を知った各国は能力チカラの強奪を目論み、第三次世界大戦が開戦された。

アメリカが用意した軍隊は日本など3日もたたない内に制圧できるほどの量だった。

誰もが日本の敗北を確信していた。

しかし

アメリカ軍はおろか、すべての国は日本へと侵攻することができなくなった。

日本を取り囲むように見えない防壁のようなものが出来上がっていたのだ。

その防壁はアメリカの放った水爆でもびくともせず、海底深くまで、オゾン層高くまで続いていた。

なぜか日本の攻撃は内側から届くのに対し、他国の攻撃はすべて見えない防壁に遮断されるのだ。

結果は見えていた。

しかし、人類の^{チカラ}人智を超えた能力に対する憧れは収まらなかった。

結果、戦争は50年続き、2億人の犠牲者が出る、人類の歴史に深い傷跡を残すことになった。

諸外国に大きなダメージは与え、日本は^{チカラ}能力を独占した。

しかし、国内では、異世界との扉が不定期に開き人外の化け物、「レイス」が現れることがたびたび起こっていた。

国は即刻戦争時に結成されたヘルジュエルの量産型「エクシード」を使った能力者の軍に
対処をさせていた。

しかし2年後東北地方近辺でレースの大量発生が確認された。

国はすぐに軍を派遣した。

しかし、派遣した軍は全滅という結果になった。

これまでのレースとは比べ物にならない強さのレースが現れたのだ。

国はこれを緊急事態と判断し、東北地方一帯を封鎖した。

日本はこの国をLv1からLv5の5つの領域に区切った。

国はレースからの脅威を防ぐためにエクシードを使った能力者の育成を最優先事項とおき、
能力者の育成をするために

能力研究独立都市 通称「ユートピア」に、志願した18歳未満の
子供達を収容した。

そしてユートピアには総計1700万の人口が集まった。

人類が手に入れた能力は人類の更なる発展へと繋がるのだろうか

それとも……………

00・終わりの始まり（後書き）

はじめまして、蒼龍です。え？名前が厨二病？そんな事はきにしません

では第一回目のあとがき気合いれて書いてみます！b

では最初にこの作品はなにがしたいのかを語ります。

すみません、思いつきで書いてみました。

次に、この作品を通して読者の方に何を受け取ってもらいたいのかです。

特に・・・ありません（汗）

適当でめんなさい・・・

不定期にですが更新していくので、応援してもらえると嬉しいです！笑

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3844k/>

世界を救う少年の物語

2010年10月16日00時37分発行